

地方小出版

情報誌

アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

「うつくしま出版文化シンポジウム」開催報告

地域の出版文化に活気を！

★★★

文・遠藤由美子

福島県立図書館「地域出版文化育成プロジェクト」が福島民報社と県書店商業組合に呼びかけて実現したシンポジウム「うつくしま出版文化シンポジウム」は、11月8日、福島県立図書館を会場に開催された。地域出版をテーマに関連機関や出版社が公開で討論する試みは県内では初めてのことだった。この企画の背景には、福島県の地域出版を常にリードし、多大な功績を残してきた「歴史春秋社」が、今夏、民事再生法の適用を申請するに至ったという衝撃的な出来事があった。これにいち早く危機感を募らせたのが福島県立図書館であった。ほどなく、県立図書館の出入り口に近しい地域カウンターには「地域に根ざした出版活動」ががんばってます、県内出版社」のブースを設けて県内出版物を紹介、積極的な貸し出しを始めた。そして今回、さらに直接的に地域の出版文化を活気づけるために、地域出版の現状と課題をみつめ、未来への方向性をさぐるシンポジウムが関係機関の協力のもとに開催され、併せて、県内16社(団体)が発行した地域出版物約200点の展示販売も同時開催されたのだ。地域カウンターでは、福島民報出版文化賞過去31回の入賞作品の展示も始まっている。

福島県立図書館のこうした対応は、福島県の地域出版に携わる人々、それを支える書店関係機関にとっては、一縷の希望であった。

こうした状況で開催されたシンポジウムには200名近い参加者が集った。

「偽りの明治維新」と題した作家・星亮一氏の基調講演を皮切りに、地域出版物の意義や課題、今後の方向性にむ



作家・星亮一氏の基調講演



福島県内16社(団体)が発行した地域出版物約200点の展示販売も同時開催された

けた盛んな討論が重ねられた。

福島県書店商業組合から小林政敏氏、福島県立図書館館長・永澤裕二氏、出版する側からはいわき市の総合文化誌『うえいぶ』の鈴木英司前編集長と奥会津書房の遠藤の二名。福島民報社論説委員会副委員長・鈴木久氏のコーディネートで、歴史春秋社が果敢にリードしてきた地域出版の意義や今後の課題が浮き彫りにされ、危機感を共有しつつ地域に根ざした出版文化を守り育てるための方策を探ることに照準が絞られた。出版物を仲立ちに、それぞれ異なる立場の人間が危機感を共有することが、実は最も大切な基盤づくりだったように思う。その熱い場から、さまざまな力強い提案がなされた。

『うえいぶ』前編集長、鈴木英司氏と奥会津書房の遠藤からは、出版物を直接読者に繋げることの困難や、流通の仕組みの多様化への不安など、出版界を取り巻く厳しい現状を提示した。

福島県書店商業組合の小林氏は、発行部数の少ない地域の出版物を掘り上げ全国に配本する地方小出版流通センターに似た、県内版の委託システムの必要性を語り、福島県立図書館長の永澤氏からは、発行図書の情報県内各図書館にリリースして情報の共有化を図りながら、福島県の知的産品として県を挙げて内外への贈り物に活用してはどうかという破天荒とも思える提案も示された。「お歳暮に地元の本を」という痛快な発想は、地域出版を支えようとする強い意志が滲み出ていてありがたく、心強かった。

初のシンポ開催で連携が強固に

また、図書館蔵書の中には著作権の効力が切れた名著も多いとのことで、民間での復刻の可能性も示唆した。

参加者からは新聞の書評欄を参考に図書を購入するので、地域出版の書物の紹介を積極的に掲載して欲しいという希望も出され、福島民報新聞社の鈴木久氏は、文化欄で「こんな本を知ってますか?」というコーナーを設けて福島県内の本を紹介している事例を挙げて積極的な姿勢への理解を求めた。

別室で展示販売されていた県内16社の出版物は、小林氏のご尽力により県内各地での巡回ブックフェアとして引き継がれる。

地域の出版文化を育成しようという県内初のシンポジウムは、関係機関の連携を強固にし、さらに、実践的知恵を生み出す場となった。窮地にあっても、真剣に話し合える場があり、仲間がいるということは、多くの本にとって最大の祝福である。

(えんどう ゆみこ/奥会津書房)

新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

『限界集落と地域再生』 ●大野晃著



65歳以上の高齢者が人口の半数以上を占める集落を「限界集落」という。用水や道路、田畑や林、冠婚葬祭等の維持が困難となり、バス路線も廃止され、集落の崩壊へとすすむ。その数は日本列島7,878集落にもものぼるといふ。山村の崩壊は森、水、農、川、海の劣化をもたらして都会にも影響し、列島の“がん”にもたとえられる。

本書は、限界集落という言葉をつかった、その

調査、研究の第一人者によって著された。とくに、9か所の限界集落を具体的にルポし、その問題点と再生への試みを紹介した第4章は圧巻だ。本書の後半では詳細な資料と分析、調査方法が収録され、自治体関係などこの方面の担当者にも必読のものとなっている。

◆1680円・A5判・314頁・高知新聞社・高知・2008/11刊・ISBN978-4-87503-403-2

『北海道の出版文化史 一幕末から昭和まで』 ●北海道の出版文化史編集委員会著



北海道最古の印刷物とされる文化3年、有珠善光寺刊行の『蝦夷地大白山善光寺縁起』から、昭和に到る150年余の歴史を概観した大著。A5判762頁の重量感に、北海道における出版文化の重みを感じさせられる。幕末から、開拓史、道庁、殖民社会という北海道特有の出版事業を経て、高度成長期の出版者の活動までをたどる通論と、考古学、アイヌ、自治体史、文学、山岳、児

童出版、豆本、製本、装幀、図書館といったジャンル毎に論述する各論、自然関係書目、出版文化史関係主要文献目録、関係年表などの資料の三部からなる。37項目を各専門家が執筆し、書名・人名索引を付した、さながら百科事典である。

◆6300円・A5判・762頁・北海道出版企画センター・北海道・2008/11刊・ISBN978-4-8328-0811-9

『永遠の歌姫 佐藤千夜子』 ●菊池清麿著



わが国で最初に流行歌をレコードに吹き込んだ歌手は？これはなかなかの難問。答えは佐藤千夜子である。明治30年生まれの子夜子は昭和4年32歳の時、「東京行進曲」を大ヒットさせるが、彼女の近代大衆音楽史における最大の功績は古賀政男の才能を発見したことであった。

本書はその功績の方に力点を置きながら、悪女と誤解されがちな千夜子の正途と実像に迫る。絶

頂期に声楽修行のためイタリアへ渡るといふ一見不可解な行動の秘話も盛り込まれている。72歳で生涯を閉じるが、千夜子なくして日本の歌謡曲はこれほどの発展をみなかっただろう。古賀政男はもちろん、藤山一郎なども登場し、昭和歌謡史を辿る上でも興味深い内容である。

◆1995円・四六判・326頁・東北出版企画・山形・2008/12刊・ISBN978-4-88761-050-7

『ハルミンの読書クラブ』 ●浅生ハルミン著



古本好きに愛される月刊誌『彷徨月刊』で近代ナリコ女史と交互に連載中の「ハルミン&ナリコの読書クラブ」。『私は猫ストーカー』でもおなじみ、浅生ハルミンのパートをまとめた一冊。道端に『それいゆ』全63冊が落ちていないかと夢見たり、『花椿』について熱っぽく語ったり、古本屋の宅買いに同行したり、はたまたイタリアはマルタ島で本を探したり。日常に本のたのしみやお

かしみを見つけては話してくれているような、奔放な愛らしさ。お疲れ気味の巻末対談もおもしろい。お互いがデザインしあった装幀、本書は近代による。cochaeという折り紙グラフィックユニットによる、こけしの展開図。

◆1470円・175mm×105mm判・141頁・彷徨舎・東京・2008/11刊・ISBN978-4-903919-70-6

『ナリコの読書クラブ』 ●近代ナリコ著



上記の浅生ハルミン女史との交互連載「ハルミン&ナリコの読書クラブ」、文系女子に絶大な人気を誇る京都のリトル・プレス『modern juice』編集・発行人、近代ナリコのパートをまとめた一冊。普段の文筆業よりも自由とリラックスを感じる文章。『暮しの手帖』との馴れ初めや、風邪ひきの寝床で読んだ村上春樹、部屋の収納部分の8割を占める本に「いたずらな夢と無知識」の堆積

とため息をつく。女子感に浸って読んでいると、アートへの鋭い視線にハッとさせる。浅生による装幀は、『modern juice』の装画を手がける東山聡の、うっとりするような本と女子の世界。彷徨舎から2冊セットでの直販だと、特製くるみ箱入り。

◆1470円・175mm×105mm判・141頁・彷徨舎・東京・2008/11刊・ISBN978-4-903919-71-3

売行良好書

期間：2008年12月16日～2009年1月15日

[出荷センター扱い] ※税込み価格

- (1)『作っておくと、便利なおかず』1260円・ベターホーム出版局 (2)『イエスの涙』1995円・アートヴィレッジ (3)『自閉症の子どもたちの生活を支える』1575円・筒井書房 (4)『このマンガを読め! 2009』882円・フリースタイル (5)『お位牌はどこから来たのか』2205円・興山舎 (6)『鉄道遺産を歩く』2100円・吉備人出版 (7)『浅田家』2730円・赤々舎 (8)『水に舞う不死鳥』1575円・弦書房 (9)『子どもにとどく語りを』1680円・小澤昔ばなし研究所 (10)『自然農・栽培の手引き』2100円・南方新社 (11)『佐野繁次郎装幀集成』2310円・みずのわ出版 (12)『ヒトラーに抗した女たち』2625円・行路社 (13)『空と森の王者イヌワシとクマタカ』1680円・サンライズ出版



[三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書] ※税込み価格

- (1)『東京かわら版 1月号』420円・東京かわら版 (2)『酒とつまみ 11号』400円・酒とつまみ社 (3)『風呂なし野郎 1』100円・野宿野郎編集部 (4)『ハードスタッフ 12号』1680円・先鋭疾風社 (5)『昭和プロレスマガジン 16』1000円・昭和プロレス研究室 (6)『楠木正儀の生涯』1890円・歴史春秋社 (7)『鉄道遺産を歩く 岡山の国有鉄道』2100円・吉備人出版 (8)『よくわかる 長野県の苗字』1680円・しなのき書房 (9)『悼詞』3465円・編集工房SURE (10)『ひとりひとりすくと立って』1260円・滯標

[ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書] ※センター出荷データより/税込み価格

- (1)『Bon Appetit 5』550円・Bon Appetit (2)『東京かわら版 No. 420』420円・東京かわら版 (3)『酒とつまみ 第11号』400円・大竹編集企画事務所 (4)『ReviewHouse 02』1500円・ReviewHouse (5)『ReviewHouse 01』1001円・ReviewHouse (6)『円周率1,000,000桁表』330円・暗黒通信団 (7)『うたえほん』1575円・グランまま社 (8)『VERNACULAR』8400円・赤々舎 (9)『ちびくる・さんぽ』1050円・瑞雲舎 (10)『しあわせを贈るクリスマスカード1000』2310円・カラーフィールド

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。
<http://www.bekkoame.ne.jp/~much/>

トピックス — ★★★

▼富山の桂書房に梓会出版文化賞特別賞

社団法人出版者の事業として毎年継続されている梓会出版文化賞の特別賞に、富山の桂書房さんが選ばれました。この賞は出版社の出版活動にたいする顕彰というユニークなものです。今回の桂書房さんの受賞理由としては、富山の地にありながら映画『おくりびと』のもとになった『納棺夫日記』等ジャーナリストティックな出版活動を行っていることがあげられています。桂書房さんは、センターが毎年出品に関わっているブックインとっとり・地方出版文化功労賞でも過去多くの受賞歴があります。『二人の炭焼き、二人の紙漉き』(第20回・奨励賞)『感化院の記憶』(第15回・功労賞)『粗朶集』(第10回・功労賞)『村の記憶』(第9回・功労賞)『納棺夫日記』(第7回・功労賞)等、地道に出版活動を継続されている桂書房さんに敬意を表し、お祝いを申し述べたいと思います。

▼雑誌情報

毎月のように休刊のお知らせをしているような気がいたしますが今月もまた。沖縄情報誌の月刊『うるま』(三浦クリエイティブ刊)は、昨年12月に出た1月号で休刊となりました。また同じ沖縄発の音楽カルチャー誌・月刊『hands』(ハンズ・コム刊)は、不況のあおりを受けてきびしい状況になりつつあり、県外流通を自粛、県内流通に特化することで巻き返しをはかるとのこと。今後沖縄県外の書店さんへの配本はなくなり、ハンズ・コムから県外読者への通販は継続します。


郵便販売のご注文方法

- ◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。
- ◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3～4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございました場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。
- ◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。

★地方・小出版流通センター

FAX: 03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM ~ 8:00 PM
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
 TEL. 03-3233-3312(代)
 URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

営業の
ごあんない

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

